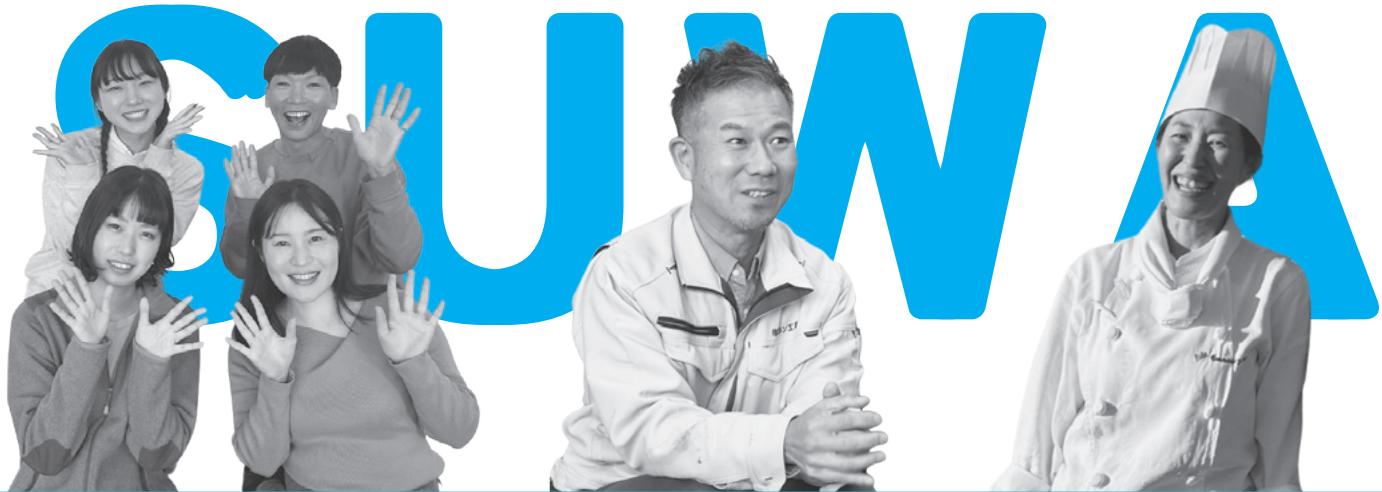


議員が街に出て皆様の声を聴こうと企画しました。町の活性化に必要なものは?などをテーマに、いろいろな場面で活躍する方々にインタビューしました。移住者の立場で、企業人の立場で、また活性化を企画する人などたくさんの方がいます。一部ではありますが、ご紹介します。



地域おこし協力隊～移住定住チーム～
いけだ 月音さん 藤原 裕太さん
みちさわはるかさん 濱野みのりさん

下諏訪にしかない魅力をPR

三地澤 下諏訪町は居心地がよく、優しい人が多いと感じます。諏訪湖周辺に行く道の整備などができるといいですね。

藤原 下諏訪町はとても魅力的ですが、もっと活かしていきたいです。小布施町のように大胆な発想で、ウォーカブルなまちづくりができますね。

濱野 観光の滞在時間が短く、下諏訪の魅力を伝えきれていないと感じます。生活基盤を作り難いため、関係人口の増加を考えることも必要です。下諏訪にしかない価値の掘り起こしができますね。

池田 2拠点生活もでき、田舎過ぎないコンパクトさが良く、地元の方々とのコミュニケーションを大切にしたいです。

移住定住PR費等の予算増額や空き家改修の積極支援等の課題もいただきました。（林・竹元）

下諏訪商工会議所青年部会長
(有)グラン工業専務取締役
笠原 博人さん

町の良さを活かして

町の活性化に必要なものは学生がこの町から都会へ出て様々な経験を積むことはとても良いことだと思いますが、自然豊かで、ゆとりある田舎の魅力をもっと開拓・発信して、彼等との「関係人口・交流人口」を増やすことが有用だと思います。

将来の町はどうあって欲しいか町民1人1人の生活への自己評価や人生への幸福感や満足感が高い町、ウェルビーイングの高い町になれば、移住者や関係人口が増えると思います。

町のおすすめスポットは魅力的な店が下諏訪にはいっぱいあります。例えばちいとこ商店で軽くビールを引っかけ、千ひろで蕎麦を食べ、御湖鶴で日本酒を飲み、結びの木のバウムクーヘンや新鶴の塩羊羹をお土産に買って帰る等はどうでしょうか。（高橋・豊島）

キャナリィロウ パティシエ
おぐち 小口 るみさん

諏訪娘マミーズと共に

現在キャナリィロウ諏訪湖畔店で腕を振るう小口るみさんに下諏訪の良さをお聞きしました。諏訪湖はあるし、温泉もあるし、富士山も見られるし、子どもを育てやすく住み心地がいい町です。子どもが中学校のボート部に入ったのをきっかけにボートを始め、「諏訪娘マミーズ」で13年になります。最初は大会に出ても予選敗退していたけれども、一生懸命練習を続けて多くの賞をいただきました。諏訪湖の周りにジョギングコース、サイクリングロードがあり素晴らしい環境です。スポーツを通して諏訪湖周を盛り上げたい。もっと町に若い人が集まってほしいし、空き家の活用や福祉などの教育機関ができると町おこしになり、交流が生まれると思うと語られました。（大橋・野沢）

街角インタビュー拡大版！



あの人この人に聞いてみた



kenken レストラン オーナー

さかもと けんいち

坂本 賢一さん

来ると何か楽しい街に

下諏訪町の活性化には、個々の活動を連携し、町全体で一体感を持つことが重要だと思います。個人や法人の努力には限界があるので、町と商工会議所とが一丸となって取り組むことが必要。「下諏訪が盛り上がっている」と、訪れる人が増えている今がチャンスです。現状を把握するために意識調査を行い、目標を設定し、近隣からの来訪者を増やす仕組みを整えることが求められます。『観光以外でも下諏訪に来ると何か楽しめる街』として、商工業の魅力を発信し、町全体がレベルアップするといいですね。おすすめスポットは諏訪湖周辺で、八ヶ岳やアルプスの景色を楽しみながら走れる絶好の場所です。特に冬の富士山の美しさは格別です。

(高橋・豊島)

マスヤゲストハウス オーナー

ひるまきょうこ

比留間 希生子さん

深呼吸すると心が穏やかに

マスヤゲストハウス経営者の比留間希生子さんは茅野市の生まれ。下諏訪は山が近く、冬の諏訪湖を見ながら深呼吸すると心が穏やかになります。Uターンして開業したきっかけは、あそこに行ったら何か情報が手に入る、そんな場所があったらいいなあと思ったこと。近所のお店の人と親しくなって里帰りのような感覚でまた会いに来たり、下諏訪に魅力を感じて移住したくなったり、旅行と移住の間を繋ぐような役目をしています。大きな店の誘致より、個人でもオモシロイ店・好きなことを仕事にしていく、暮らしの満足度の高いほうが町として魅力的です。自営業をしながらの子育てで、保育士さんにはいつもお世話になっています。保育士さんの待遇改善を望んでいます。

(大橋・野沢)

下諏訪観光案内所 所長

こまつなおと

小松 直人さん

熱い男が語る下諏訪

下諏訪への郷土愛がとにかく熱い。防災ネットワークしもすわのアドバイザーで漫才もこなす下諏訪観光案内所の所長や旅館組合の事務局も務める小松直人さん。観光の現状について、歴史文化などを生かしきれていなと言います。もっと下諏訪の良いところはいっぱいある、それを発信したい。インバウンドにも力をいれて欲しい。観光グッズ「温泉娘」なども人気だが、下諏訪の関連グッズが少ない。もっと観光商品の開発をして欲しい。本当のところ可能ならば、やはり100人位宿泊できるホテルが必要で、官民が協力して出来たら良いですね。また高齢者が外に出て交流できて、もっと住みやすい町になれば良いですねと話されました。

(林・竹元)